



国道六號線の舗装

尙安心を許されず

地元は飽迄貫徹に總努力 結局は實現するを觀る

国道六號線、久の濱間の改良工事舗装の施行は内務省を許されず殊に石城郡として案に四百十九萬圓を計上され既に内務省の成案を得たる小平市を中心とする沿線地から愈々多年の待望達成を望まれて残る大藏省の通過に對し部民を擧げて歎願これに努めて本縣には阿武隈川の改修矢吹原の計畫、小名濱商港の擴張並びに災害復舊等これに前記の道路舗装を加へて實に四大事業があり悉くこれを容

踏切排除縣道換線

潰地買収難で再交渉中

縣では平市北目通りに於て縣道小野新町平線から分岐する縣道赤井停車場川中子線の間にある磐越東線二ヶ所の踏切が悲惨の事故を再度してゐるので之れを除くべく本年四月前記踏切を要さぬ換線計畫を立て延長に於ても三分の一を短縮する設計に地元好問村愛谷の關係地主二十名潰地三反餘の畑地買収を反當六百圓の豫算である

東北六縣市部財務協議會

十三、四兩日平市公會堂で

東北六縣十六ヶ市の財務協議會は歴報の如く明十三日から十四日の二日間平市公會堂に於て開かれるので地元平市で

前中に終了と同時に出發することになつてゐる出席都市左記の如くである
福島 若松 郡山 青森
八戸 弘前 盛岡 釜石
仙台 石巻 山形 米澤
鶴岡 酒田 秋田

岡部少尉負傷

石城出身の勇士

岡部三郎特務少尉、石城郡渡邊村の泉田出身で南支方面の戦線に活躍されてゐたが去る七日戦傷の旨同村役場に公報された、少尉の留守宅には夫人良子(三三)さんと長女正子さん外三兒は

戦地の便り

戸田 徳次郎

水は湯のやうに 食物は腐敗する

拜啓、本日慰問袋を頂き感に小躍りしつゝ感激の涙がこぼれました、皆々様が我々兵隊を斯まで思ひ下さる御厚情には感謝の涙があるのみです、皆々様に御座り下さる御熱誠の有様がありと感にあらざれず、洋平和確立の爲め最後まで努めねばならぬ氣持を一身動かしませんでした、思へば懐かしき平野で皆々様の歌呼の聲に送られた時のことが再び強く胸に甦つて來ます、「タバコ」に「キセル」に遠い合ての生活を憶ひ懐に郷土の味を感じ、皆々

高等女學校を女子中等學校と稱してニユイツイチュンシユエシアオ師範學校は同じく師範學校でシフアンシユエシアオ、士官學校の事は軍官學校でチユイシユエシアオ

祈願奉射大會

縣社八幡社で

平新報主催の第二回武運長久祈願奉射大會は来る十七日の神嘗祭當日平市八幡小路鎮縣社飯野八幡社境内で舉行されるが他郡區及び茨城縣方面からも出場の皆々盛會を豫想されてゐるが三年間の連戦優勝者には社司飯野盛男氏から日本刀一口を贈られることになつてゐる

荷箱のくぎ

増配方を陳情

海運收獲の大半を占むる鰯魚の盛期を迎ふる石城各濱では各地方への移出に要する荷箱の釘が思ふやうでなく斯では是では折角の鰯魚も合なしになつて終ふので水産業者の代表が去る九日出陣して水産課をはじめ關係筋に事欠かぬ配給方を陳情した

防空打合

區長と群長會

平市中來十五日の第三次防空訓練は施行區域を擧げて從來に倍する緊張に満たされてゐるが平市中では来る十五日市公會堂に行政區長並に防空群長を招集して打合せをなす

平市水神祭

平市水道の八幡小路配水池

平市水道の八幡小路配水池構内に祀る水神社の例祭は來

陸奥路の笹龍旗を迎へて

建武神社に

あ、其昔長途、入援の悲壯に彷彿たり 諸根 樟一

安維持建設の使命でしたの駐屯地に於て皇道宣布に つとめて居ります、しかし第一線の気分と少しも變りません

小川江臨時會

石城郡小川江筋組合の臨時總會

會は来る十四日午前十時から平市の郡團休事務所で開催、共同積立金運用、公債繰上げ償還、水害復舊耕地事業の施行、十四年度追加更正豫算の諸件につき附議決定の管

前平驛長の山崎氏兩國驛長に

前平驛長であつた山崎花郎氏

前平驛長であつた山崎花郎氏は同驛から千葉軍管區主任に榮轉勤務中であつたが今回更に抜擢されて兩國驛長となる

石城産の松茸 愈々大衆値段

百々七十錢に下る

平市には此の程まで松茸のやうに高い信州地方産の松茸で店頭に香りを漂はせ餘りの高値から嗜好家にも容易に手の出なな焦燥をなさしめてゐたが數日來地元産の松茸が漸く姿を見せ名産地石城郡大野村の玉山嶺泉裏白岩の松茸山も今年には好ましい獲出らしく唱ひられてゐるが漸次大衆値に向ふ相場は出足り物の百々九十錢から過る九日、十日頃の

山田村で銃後強化に赤らやん會

石城郡山田村の助成會では過

る銃後々強化週間に於て乳幼児六十九名の健康を備し満一才の優良児左記五名の母子を表彰した

植田と勿來の 小學兒放送

十五日H.K.から

石城郡植田町と勿來町の小學兒童は来る十五日午後六時の子供の時間に仙台放送局から唱歌を放送するが曲目と小歌子達は左記の如くである

坑夫の落盤即死

石城郡湯本町の水野谷磐城炭

鑛小名濱坑々内排氣坑に於て昨十一日午前十時三十五分頃坑道掘きのセメント築構作業中の同郡磐城村の下湯長屋宇新道三二大平義雄(三三)は同僚四名と同一箇所仕事してゐた上部に土砂崩落の兆兆があつたに拘はらず坑内剛れが果つて仰向のものに逃げたのを平氣であつたので其の下敷となり即死した

慰問袋の打合

平市では来る十五日定期慰問袋の募集につき協議會に於て

慰問袋の募集につき協議會に於て協議會の他を會して打合せをなす

新報ダイヤベン付 ウエル萬年筆 一、五〇以上 商工省主催『代用品工業振興展覧會』出品申込の各種代用品 一萬數千點中萬年筆としてはウエルは、一、五〇以上の重量なる筆に合格したる新報國策製品

八十錢、次へで昨今では七十錢から七十錢に下つてゐる 山田村で銃後強化に赤らやん會 石城郡山田村の助成會では過る銃後々強化週間に於て乳幼児六十九名の健康を備し満一才の優良児左記五名の母子を表彰した

産業の節米

節米と配給の國家管理

戦時下の米穀政策

本年の米穀事情は大陸方面に於ける需要の激増及び中國地方の旱害などの爲めに全國在米高が著しく減少してゐるので此の窮乏事情につき農林省當局に於ては新しく其の數量及び配給政策の點から再検討することとなつた、從來の方針は米穀はわが國民の主食物であるが内地をはじめ朝鮮、台灣などを通じ例年その産額が需要の數量とほぼ同數であるから適正なる價格政策を施行すれば心配はないとされてゐたのであるが、戦時下の食糧政策はこれのみでは十分の満足と云ふわけにはいかない、新しく數量及び配給機構の整備を急がんとするものであつて場合によつては米穀配給機構の一部を國家の管理になさんとする對策まで考慮されるに至つた、それで農林省當局としては米穀の應急策として取りあげたものに五つの對策がある、それを次に述べる

▲節米の運動、これは當局としては米穀は國民の主食物であるのだから米だけは十分食へ得ると云ふ觀念を興へることが國民生活の最大要件の一つとして來たゞけに節米と云ふやうな言葉を用ひて來たのであるが、窮乏な米穀事情を緩和する爲めには第一これに着手せねばならぬと云ふ立場から精神總動員体制の一翼としてこの運動を開始する、次は、

▲酒造米の削減、これは既に全國一率に前年仕込高の二割減を實施する、
▲新配給機構の確立、方法論は種々に分れてゐるので當局の最も考慮してゐる點で場合によつては一部國家管理も實現される氣運となつてゐる、
▲米の撈精度低下、白米を全廢することは保健の立場から提唱されてゐるが、同時に數量確保の點から云つても大きな問題で玄米または七分搗米、胚芽米等を奨励せんとするもので一部は實施されてゐる、それに麥類初輸出を禁止するもの等々である(完り)

肉の御用命は

三三屋

牛も豚も優良品の自慢

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆様の御用命へ身元確實なる婦人を派出致します

平市南町 電三〇七 **平看護婦會**

會長 清野キヨ子
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

タバコをヤメるに **不思議の妙薬**
確實に禁煙に成功の出来る **ニコチロン** 一瓶を
含嗽劑 **ニコチロン** 一圓を
是非御使用を御勧め致します

専賣店 漢方醫 藥師 **山野邊藥局**

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平市南町 電二五八番

入院 應需

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴其他の
御集ひに御座敷

味覺實質 衛生萬點の **マルトキ食鹽**
平市四丁目(電話二三三番)

電話五九二番
に變りました

食事 喫茶 喫酒
酒場を兼ねた

レストラン サロ
平市銀座街

専門 皮膚科 泌尿科 性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで

醫學博士 **江尻伊三郎**
平市田町 電話六九二番

院醫尻江

和洋雜貨、金銀器屋
益隆堂
九段、六段

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

類品洋とンバカ

眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新)
(話電) 屋砂眞 (五六)

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿瘍科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向ヒ)

中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野慈次
主任 日本醫學士 藤谷伍郎
主任 佐藤重義

國民精神總動員
日本國民必見の報……

内閣情報部發行
寫眞週報
1部10セン
お取り致して居ります

平二 **西村屋藥局** 電三